

施設名：埼玉医科大学病院

施設形態：私立大学病院

院長名：篠塚 望

指導責任者氏名：松尾 幸治

指導医人数：（ 6 ） 人

精神科病床数：（ 78 ） 床

疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数（年間）	入院患者数（年間）
F0	242	49
F1	39	13
F2	1077	105
F3	635	43
F4 F50	1608	45
F4 F7 F8 F9 F50	383	14
F6	30	3
その他	372	3

施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

埼玉医科大学病院は78床2病棟の閉鎖病棟を有しており，うち1病棟はスーパー救急病棟である。特に，精神・身体合併症については，埼玉県精神科救急医療体制の身体合併症に関する常時対応施設として埼玉県の精神科医療を支えている。精神医学の中核的領域，総合病院としての領域，スーパー救急病棟としての領域，専門性の高い領域など幅広く学ぶことができる。

地域の最後の砦として，「来る者拒まず」「最後はうちが支える」という能動的な気概をもって日夜奮闘している。この姿勢が，当科における診療の広さ，そして

表面的に流されぬ深さに繋がっている。当科には、軽症から重症，一般から特殊，子供から老人まで，あらゆるケースが来院する。経験できる領域は，

民間クリニック・精神科病院的な精神医学の中核的領域（気分障害，神経症性障害，統合失調症，認知症等）

総合病院ならではの領域（摂食障害，器質性・症状性精神障害，mECT，自殺企図，リエゾン・精神身体合併症等）

精神科「スーパー救急」施設ならではの領域（統合失調症をはじめとする措置・緊急措置入院例等）

専門性の高い領域（児童・青年期例（広汎性発達障害や ADHD 等），てんかん，ナルコレプシー，医療観察法鑑定入院例等）などである。

週間・年間スケジュール

週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
午前	病棟研修 病棟回診 診療ミーティング	新入院 外来研修 救急研修		往診:コンサルテーション・リエゾン [救急科、他科病棟、国際医療センター] 救急研修	修正型電気けいれん療法 外来研修 病棟研修	病棟研修 外来研修 児童思春期外来
午後	病棟多職種ミーティング 診療科連絡会 新入院カンファレンス 臨床カンファレンス 臨床研究部会	病棟研修 [病棟での身体合併症を含む] 精神医学クルーズ	学外研修日	往診:コンサルテーション・リエゾン 病棟研修 往診ミーティング	外部施設研修 かわごえクリニック、丸木記念メディカルセンター デイケア	(外来研修) (病棟研修)

夕		リサーチミーティング			
夜	～当直研修(副直) 週に1回程度～				

年間スケジュール

	内容
4 月	初期ガイダンス等の実施 マンツーマンでの病棟担当医トレーニング開始 新患予診などの外来トレーニング開始 副当直で当局業務見習い開始
5 月	継続（半年後に主当直可能なレベルを目指す） ※埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科、埼玉医科大学総合医療センター神経精神科との合同勉強会
6 月	継続
7 月	※東京精神医学会 ※埼玉精神医学懇話会
8 月	継続
9 月	主当直開始（指定医当局医の指導のもと）
10 月	※埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科、埼玉医科大学総合医療センター神経精神科との合同勉強会
11 月	※東京精神医学会
12 月	
1 月	※埼玉精神医学懇話会
2 月	※埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科、埼玉医科大学総合医療センター神経精神科との合同勉強会
3 月	※東京精神医学会
その他	埼玉精神医学懇話会(年 2 回) 東京精神医学会(年 3 回)、埼玉医科大学国際医療センター精神腫瘍科、埼玉医科大学総合医療センター神経精神科との合同勉強会(年 3 回) 可能な限り出席。少なくとも年1回は発表者として症例報告をする その他 日本精神神経学会総会、日本総合病院精神医学会、日本うつ病学会、日本統合失調症学会、日本てんかん学会、日本老年精神医学会等、積極的に参加及び発表を行う